

3/1 (日) 菊池市商工会青年部などが ペットボトルのキャップを発展途上国の子どもたちのために寄付

菊池市商工会青年部（梅田雄二部長）などが集めたペットボトルのキャップ約2万個が、発展途上国の子どもたちにポリオワクチンを援助する活動をしている、熊本市のバンド「風歌」（ふうか）へ贈られました。梅田部長が研修で訪れたフィリピンで、予防接種を受けられず病気にかかり当然のように亡くなっていく子どもたちの姿を目にし、自分たちに何かできることはないかと考え、この活動をしている同バンドの存在を知り、早速部員に伝え、昨年8月からキャップを集め始めたものです。能場で行われた「きくち Street Live in 初市」に合わせ、梅田部長から風歌のメンバーに贈られました。

梅田部長は「これからも活動は続けていきたいです。また、この活動を色んな人に知ってもらいたいです。ペットボトルのキャップ約800個で1人分のポリオワクチン（約20円）になります。『皆さんの小さな愛をわけてください』と話されました。

ペットボトルのキャップ約2万個を手渡す梅田部長(左)



3/2(月) 「(有)有朋の里 泗水」が地産地消優良活動表彰「農林水産大臣賞」を受賞



買い物客で賑わう、道の駅泗水「養生市場」

平成20年度地産地消優良活動表彰で、道の駅泗水「養生市場」を運営している第三セクター「有限会社 有朋の里 泗水」が、最高賞である「農林水産大臣賞」（交流促進部門）を受賞しました。熊本県からの同表彰に係る受賞は、今回が初めてとなります。

生産農家に対して減農薬栽培を推進しその活動を支援するなど、安全・安心の農産物づくりや、生産者が当番制で店頭に立ち消費者と直接対話するなど、消費者ニーズに応じた活動が高く評価されたものです。地元農産物を使った「道の駅弁」の加工・販売や、地元小・中学校などへの給食食材の提供など、菊池市を代表する地産地消の実践活動組織でもある同社の地域住民と連携した活動の更なる発展、またこの受賞により本市における地産地消の取り組みがより一層推進されることが期待されます。

3/12 (木) 花房飛行場の戦争遺産を未来につたえる会が「花房飛行場地域づくり提案書」を提出

花房飛行場の戦争遺産を未来につたえる会（倉沢 泰代表）が福村市長を訪れ、泗水町にある旧陸軍菊池飛行場（通称：花房飛行場）跡地に残る給水塔の保存方法や、それを核とした活用方法などを1年間をかけて協議してきた「花房飛行場地域づくり提案書」を提出しました。同会では昨年4月から提案書の作成を始め、給水塔上部には約30カ所の弾丸跡が残っており、平和のモニュメントとしての活用もできるほか、水位測定装置がある給水塔は全国でも現存するものが2例しかなく貴重であることなどをパネルを使って説明しました。

倉沢代表が「今後の遺産への登録、よろしく願います」と提案書を手渡すと、福村市長は「地域の皆さんと協力して進めていかなければいけないと思います」と応えました。



パネルで花房飛行場に残る給水塔の保存方法などを説明するメンバー

2/28(土) 災害に備えて炊き出し訓練

菊池市福祉会館を会場に、災害ボランティア講習会が開かれ、防災の基礎知識や避難所での炊き出し訓練がありました。菊池市社会福祉協議会・菊池市ボランティアセンターの主催、菊池市・日本赤十字社菊池市地区の共催。

受講者37人は、講師の日本赤十字社熊本県支部の渡辺 完（たもつ）参事から、1時間基礎知識を学びました。実技では、まずテント設営から始め、レトルトカレーと袋に洗米1合と水を加え、沸騰したお湯に30分浸せばご飯が炊き上がる、ハイゼックス（炊飯専用特殊袋）を使った炊き出し方を学びました。



防災の基礎知識講座

同熊本県支部から貸与された調理用大鍋とハイカロリーガスバーナーを使えば約20分でお湯が沸きます。参加者は「やはりご飯を食べないと力も出ないよね」と、食事の大切さを体験していました。



炊飯専用特殊袋を使った炊き出し訓練

2/28 (土) 第21回泗水町少年剣道大会 ～泉田正さん(剣道八段)が里帰り子どもたちを指導～

泗水町少年剣道大会（市剣道連盟主催）が、泗水武道館で行われました。泗水町内の小・中学校から62人の選手が参加して、団体戦と個人戦で熱戦が繰り広げられました。

小学生から中学生までの62人が、紅白の2チームに分かれて行われた団体戦と、学年ごとの個人戦が行われました。少年・少女剣士たちの頑張りに、応援に駆けつけた保護者からは大きな声援や拍手が送られていました。上位の結果は表のとおりです。（敬称略）

また、泗水町糖泉出身の泉田 正さん（京都府警察本部）は、昨年11月に日本武道館で行われた八段審査において見事合格され、旧友たちの誘いで里帰り。午前中に行われた町内の少年剣道大会の後、地元の子どもたちに講話と指導稽古で汗を流されました。

講話では、自身が初審査から十年間の修業の末、八段に合格したことやそれまでの苦労話の中で「目標を持って努力すれば、その努力は必ず報われると思います」と後輩たちの今後の活躍にエールを送られました。



後輩たちに講話する泉田八段

	優勝	2位	3位	3位
団体の部	紅軍	白軍	-	-
小学3年以下	米本 涼 (泗水小)	北田 京蔵 (泗水西小)	福島 史朗 (泗水西小)	佐々木洋明 (泗水小)
小学4年	山崎 裕生 (泗水西小)	佐々木結斗 (泗水小)	藪下 友河 (泗水小)	松岡 遼 (泗水西小)
小学5年	小川 黎 (泗水西小)	久川 隆慎 (泗水小)	梁池 優希 (泗水小)	小村 理奈 (泗水小)
小学6年	村木 孝彰 (泗水小)	出口 俊介 (泗水小)	山本 冬弥 (泗水小)	坂口 大樹 (泗水小)
中学生(男子)	新 武人	稲田 健壽	安武 誉志	-
中学生(女子)	古田 薫	山代 美咲	古田 愛	-



熱戦を繰り広げる剣士